

経営比較分析表（令和2年度決算）

千葉県君津中央病院企業団 君津中央病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	33	対象	ド透I未訓方	救臨が感災地
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	52,379	非該当	非該当	7:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

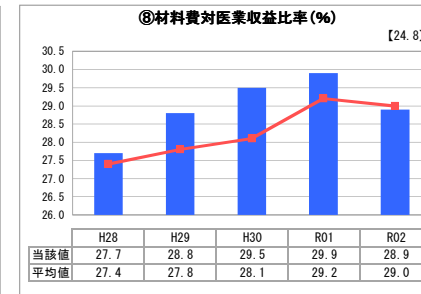
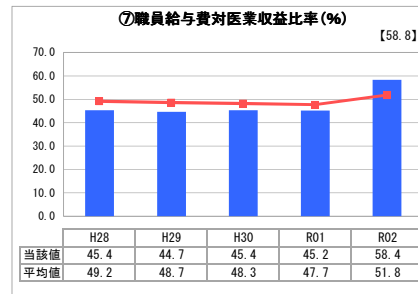
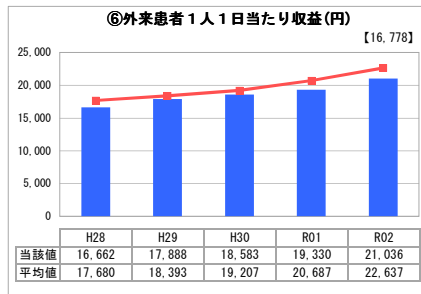
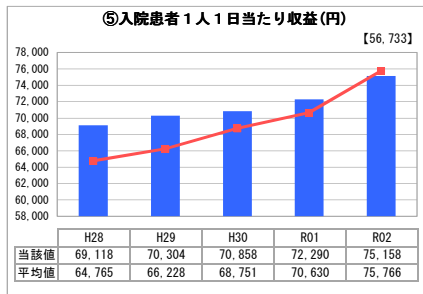
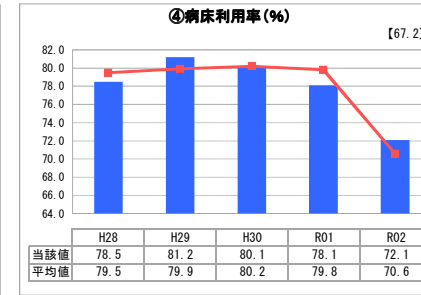
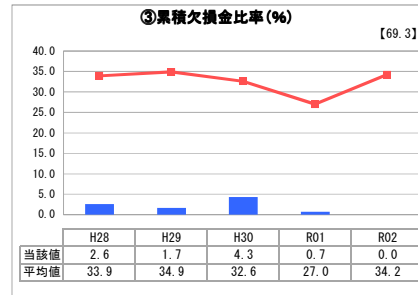
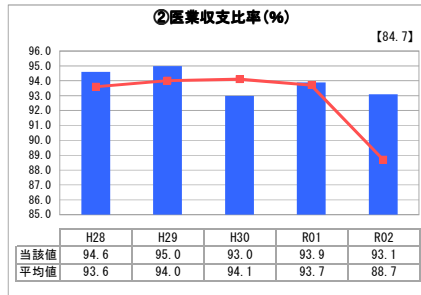
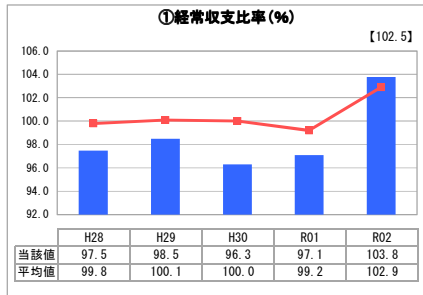
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
636	-	18
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	6	660
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
636	-	636

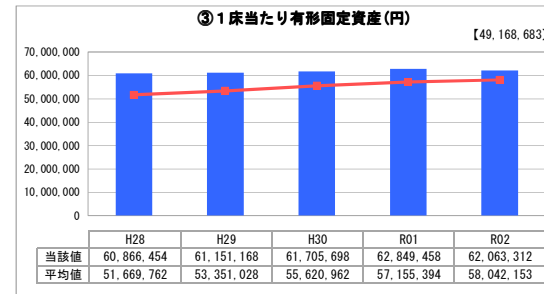
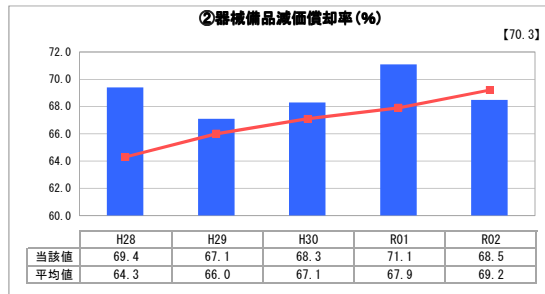
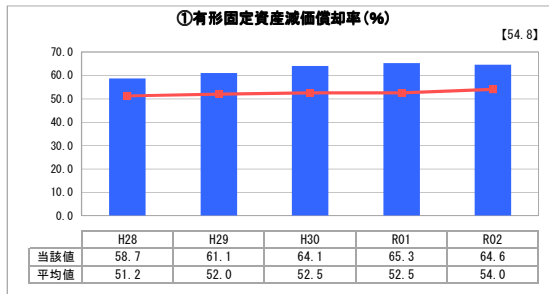
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

君津保健医療圏の基幹・中核病院として、がん、脳卒中及び心臓血管系の心臓血管疾患に対応する高度医療並びに周産期医療、三次救急医療、小児救急医療及び災害時医療等の確保性の確保が困難であり民間医療機関による提供が困難な医療を担うとともに、この度の新型コロナウイルス感染症に対応する重点医療機関としての役割も担っている。また、地域医療支援病院として、地域の医療水準の維持・向上に努めている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

新型コロナウイルス感染症重点医療機関として、感染者を受け入れるための専用病床を確保したことや、これに充てる人員を確保するために一部病床を休止したことで、入院患者数が減少し、病床利用率が低下した。しかしながら、従来から行ってきた経営改善の取組や患者数減により材料費が減少したことで、医業収支比率については、例年と概ね同じ水準を保つことができた。なお、経常収支比率が大きくなったのは、新型コロナウイルス感染症関連の補助金等によるものである。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率が類似病院平均を大きく上回っているのは、建設から17年が経過し、建物及び建物附属設備の経年劣化による影響が、類似病院よりも大きいためである。

全体総括

新型コロナウイルス感染症拡大により、病床利用率は大きく低下した。収益面については、DPC入院期間の最適化への取組や一部手術の外来化、手術後の見直し及び手術申込期限の見直し等の手術室運用の効率化を図った。これにより、入院患者数が減少していた中でも手術件数及び手術室稼働率を前年度と比較して微減に留め、入院収益の減少を抑えた。費用面では、医薬品及び診療材料について、ベンチマークシステムを活用し、粘り強く価格交渉を実施した。加えて診療材料調達における共同購買組織を活用するなど費用削減を図った。引き続き、地域において担っている役割を果たすために経営改善に向けた取組を行う。老朽化への対応については、「君津中央病院企業団中長期維持保全計画」に基づき、費用の縮減及び平準化を図りながら、現有施設の長寿命化に努める。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。